

システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

年 度	平成 26 年度	学位名		修士(ビジネス)
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名	劉 琛
指導教員氏名		TURNBULL Stephen John		
報告書題目				
<p style="text-align: center;">楽天の中国戦略に関する研究 (中国 EC 市場における決済手段及び情報セキュリティ戦略に関する研究)</p>				
報告書概要				
<p>本章では、中国 EC 利用者を対象とし、決済手段と情報セキュリティに関するアンケート調査を実施した。アンケート調査のデータに基づいて分析の結果、中国の EC 利用者は安全性と便利性のバランスを重視することと第三者代行決済サービスに対する信頼度が高いことを明らかにした。また、分析の結果により、情報セキュリティにおいて高価値商品の販売及び高所得者に高いセキュリティの施策が必要だと判明した。それを踏まえて、章末に決済手段と情報セキュリティにおける日本楽天の中国再進出戦略を提言した。</p> <p>本研究は以下のように構築された。まず、6.1 節において、本研究の研究背景と目的意義を述べた。6.2 節において、本研究と関連する先行研究の内容をまとめた。次に、6.3 節において、本研究の研究課題と仮説を紹介した。続いて、6.4 節において、本章の調査と分析方法について説明した。そして、6.5 節において、仮説の検定結果を明らかにすることで、決済手段と情報セキュリティにおける中国 EC 利用者の利用意識と傾向が判明した。章末に、本研究による経営示唆と結論を述べた。</p> <p>本研究は統計検証方法を用いて、決済手段と情報セキュリティに関する五つの仮説を検証した。その結果に基づいて楽天の中国再進出の際に決済手段と情報セキュリティにおける戦略を提言した。中国 EC 市場に再進出する楽天にとって第三者代行決済サービスが一番適合な決済手段だと思われる。他社との差別化を図るために決済関連機能とサービスを積極的に提供することを提案する。また、情報セキュリティにおいて個人所得の向上によって情報セキュリティ意識が高くなるので、高価値商品の販売及び高所得者に対して専門的な情報セキュリティの施策が必要だと思う。その他、中国 EC 利用者に対して楽天のセキュリティ技術についてのアピールと宣伝も必要だと考える。</p>				
審査日	平成 27 年 1 月 26 日			
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)	
主査	筑波大学 教授	博士 (学術)	秋山 英三	
副査	筑波大学 助教	博士 (理学)	佐野 幸恵	
副査	筑波大学 准教授	Ph. D. in Economics	TURNBULL Stephen John	